

令和7年度(2025年度)学校運営協議会委員・ 地域学校協働活動推進員(学校コーディネーター)

合同研修会

－研修概要－

【日 時】令和7年(2025年)12月7日(日)10:00～12:00

【場 所】教育センター 3階 大会議室

【内 容】(1) 講義

現在の不登校の特徴について～令和型不登校～

(2) 八王子市における取組

①つながるプランの進捗状況

②給食センターにおける居場所づくりについて

講義の様子

八王子市統括担当スクールソーシャルワーカーを講師に迎え、現在の不登校の実態と支援について学びました。

不登校の定義から、最新のデータを元にした、令和に生きる子どもたちの心理状態などを、丁寧に説明していただきました。子どもたちの心の動きへの寄り添い方など、保護者だけでなく、周りの大人にもできることを、分かりやすく学ぶことができました。



本研修会は100人近い参加申し込みをいただき、地域の方々の関心の高さを感じました。

八王子市における取組について



前半は、不登校総合対策「つながるプラン」の進捗状況について、統括指導主事より報告がありました。後半は、学校に行けなくても給食だけを食べに来られる「はちっこキッチン」の取組について、学校給食課課長補佐より紹介がありました。

どちらの内容も、取組の概要だけでなく、登壇者のエピソードを通して、教育委員会担当者の、不登校児童・生徒に向き合う深い思いを聞くことができました。



意見交換会の様子



研修会終了後、各登壇者を交えての意見交換会を実施しました。興味のある説明をした登壇者のところに集まり、自由に質問をしたり、意見交換を行っていただきました。参加者同士の情報共有の時間としても活用いただき、多くの方の交流の場となりました。



参加者の主な感想

- 不登校の子どもたちの気持ち、対応の仕方などよく分かり、とても参考になりました。今後生かしていきたいと思いました。八王子のつながるプランや給食センターについても、不登校の子どもたちに重きをおき、素晴らしい取り組みだと思いました。
- 講師の、子どもたちへの向き合い方に感銘を受けました。不登校の原因是複雑で、正解は誰にもわからないと改めて感じました。しかし大切なのは人とのつながり、そして本人が自分を認めてもらっているという実感。八王子の取組は非常に重要だと思いました。
- 登校刺激のチャンスは2回しかないと知り驚きました。見極めが難しそうです。様々な方向からすべての子どもたちの、希望ある未来のためにいろいろな取り組みをされていることが分かりました。
- はちっこキッチンの様子が分かり”食の力”を感じました。
- 給食センターでの取り組み、とても良い事で、お話やテレビ放映の映像を見て聞いて涙が出ました。高尾山学園・SSWさんの取組も含め、不登校の子たちとの繋がり作りに努めていることがよくわかりました。関係者の皆様には感謝したいです。